

龍馬とお竜の新婚旅行

調べた理由

調べた理由は龍馬とお竜は日本で初めて新婚旅行に行ったことを知り興味がわきました。そこで、新婚旅行に行くきっかけやどこに行ったかなどいろいろ調べてみようと思いました。



手紙の内よう

乙女さんにさし上げます。前々から申しあげていた妻のお龍は私が寺田屋でおそわれた時に機転をきかせてくれた命の恩人です。三月に京都でのちりょうが終わり、お龍と二人で鹿兒島へ旅行することにしました。いおう谷温泉で10日ほど泊まって、谷川で魚を釣り、ピストルで鳥を撃ったりして大変楽しくすごしました。きり島山の山頂は、ながめもよく、きり島つつじが一面に咲いて実に化粧をしたようでした。

龍馬が書いた手紙です。



地図の説明

○この逆幹は、よく動くのでお龍と二人で鼻をおさえて、エイヤと引き抜いてみたら4~5尺(1m20cm~1m50cm)くらいでした。すぐ元通りにおさめました。

○この穴は火山の跡です。直径3丁(約330cm)くらいすりばちみたいで下を見るとおそろしかったです。ここにはきり島つつじがたくさん咲いていました。

霧島山



塩湯温泉



龍馬とお竜が新婚旅行に行ったコース

- 3/5 大阪を出発。
- 3/17 鹿兒島県の霧島山などに泊まった。(11日間)
- 3/28 霧島山に出発したが、遠かったので一晩、いおう谷温泉で泊まった。
- 3/29 霧島山へ登った。霧島山のてっぺんの神宮で泊まった。
- 3/30 いおう谷温泉でしばらく泊まった。
- 4月 塩湯温泉で泊まった。
- 4/11 鹿兒島に着いた。
- 4/12 鹿兒島で泊まった。(50日間)
- 6/2 さくら島丸とゆう船で長崎に行った。お竜さんは長崎でしゃみせんのようなものを習った。龍馬は、お竜さんを長崎に残して、下関へ船を運んで行った。

新婚旅行の地図



いろいろな疑問

・どうして新婚旅行に行ったのか？

京都の寺田屋で襲われて、龍馬が両手の指にけがをしていた事を知り、西郷 隆盛が、「ぎずを治すために薩摩の温泉へぜひ行きなさい。およめさんのお竜さんと一緒にいけばいいですね」と、すすめてくれたから。

・いつ行って、いつ帰ってきたのだろう？

3/5~6/2までは分かっているが、その後は、お竜さんを長崎においていき、龍馬は下関へ船を運んで行って、龍馬は暗殺されたので戻ってきたとは言えません。

・カステラについて

「山はごはんが禁物だからこれを弁当にと小松さんがカステラの切ったのをくれました。」これは明治32年にお竜さんが語ったものです。

龍馬とお竜は霧島山の頂上でカステラを食べました。

感想

私たちは、新婚旅行と聞いて、今の時代と同じ理由で新婚旅行に行ったと思ったけど本当の理由はけがのちりょうも重ねて行ったので今とは理由がちがうと知りました。龍馬はけがのちりょうも重ねて、旅行に行ったので指がいたくてもおよめさんのお龍さんに行ったから楽しくて、いたみはあまりしなかったと思いました。

メンバー紹介



[TOPへ](#)